

第2学年 生活科学学習指導案

日 時 令和7年7月11日(金) 5校時

13:15～14:00

対 象 第2学年1組 20名

指導者 主任教諭 小倉 宏美

1 単元名 「大きくそだて わたしのやさい」(13 時間扱い)

2 単元の目標

自分で選んだ野菜を継続的に育てる活動を通して、野菜の変化や成長の様子に関心をもって働きかけ、野菜が生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、栽培活動の楽しさや収穫の喜びを味わい、植物への親しみを深め、大切にしようとすることができるようにする。

3 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 栽培を行う中で、植物が変化し、成長していることに気づき、生命をもっていることやその大切さに気付いている。 ② 植物には、それぞれの植物に合った関わり方があることが分かり、適切に関わっている。	① 栽培活動を通して、植物が育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけるとともに、よりよい成長を願って世話の仕方を考えたり工夫したり、振り返ったりしながら、素直に表現している。	① 自分が育てる野菜に心を寄せ、愛着をもって接するとともに、生命あるものとして継続的に世話をしようとしている。

4 単元について

(1) 指導内容【小学校学習指導要領解説 生活科編】内容(7) 動植物の飼育・栽培

動物を飼ったり、植物を育てたりする活動を通して、それらの育つ場所、変化や成長の様子に関心をもって働きかけることができ、それらは生命をもっていることや成長していることに気付くとともに、生き物への親しみをもち、大切にしようとする。

本単元では、育てたい野菜(植物)を自分で選んで決めて育てる活動を行う。自分の野菜に、自分が考えた方法(世話や観察など)で働きかけていくことで、変化や成長の様子に気付くことができるようにする。そして、栽培活動の楽しさや面白さに気づき、植物への親しみをもち大切にしようとし、自分自身の生活に生かそうとすることをねらいとしている。

(2) 創造的な資質・能力の素地を重点的に育成する単元として設定した理由

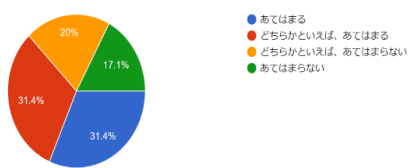
地域や家庭の人々との交流を通して、自ら考え、判断し、行動できる力を高めてほしいという保護者の願いや、笑顔とあたたかさあふれる未来を創り出す力を育ててほしいという地域社会の要請を踏まえ、本校では、育成を目指す創造的な資質・能力を「未来を切り拓く力」とし、児童がもち味を生かして挑戦できる学習として本単元を設定した。

5 児童の実態

本学級の児童は、1年生の時にあさがおやチューリップを植木鉢で育て、観察や世話を行っている。事前のアンケートでは、家庭で野菜を育てたことのある児童が20人中7人、また、野菜を食べることが苦手と答えた児童は20人中2人であったが、給食で野菜を減らす児童は多い。この単元では、児童各自が自分で選んだ野菜を工夫して育てることで、野菜に対して愛着をもち、自分で育てることや収穫することの楽しさを味わえるようにしていきたい。

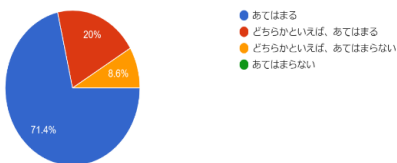
また、生活科の学習では、2年生になって1年生にしてあげたいことをたくさん考え、遠足や学校案内、運動会など、1年生の手本になったり、優しく教えたりすることができた。それぞれが育ててきた野菜を、1年生に紹介するという活動を通して、さらに児童自身が成長を感じられるようにしていきたい。

Q4 タブレットたんまっでじょうほうをしゅうしゅ...んがえをまとめ、はっぴょうすることができる。
35件の回答



タブレット端末の活用については、約20%の児童がどちらかと言えばできていないと考えている。本単元では、積極的にタブレット端末を活用する場面を設定し、児童が授業内でタブレット端末を活用することのよさを実感させていく。

Q14 じぶんのもちあじ（よさ）をいかして、ちょうせんしようとしている。
35件の回答



自分のもち味を生かして挑戦しようとしているかについては、90%以上の児童が肯定的に回答している。一方、約9%の児童はどちらかと言えばあてはまらなと考えている。題材を通して、児童のよい点について価値付けを積極的に行うことで、児童が自分のもち味に気づき、自信をもって挑戦する態度を養っていく。

【児童アンケート調査 令和6年12月実施 第1・2学年 76人】

6 創造的な資質・能力の素地を育成する視点

自分で選んだ野菜を育てる活動を通して、あさがおやチューリップ等のこれまでの栽培の経験や、本やタブレットで調べたこと、友達や周りの大人など身近な人に聞くなどしたことをもとに、野菜のよりよい成長のために働きかける方法を自分で考えて実行する力（既習事項や収集した情報、多様な考えを整理して問題の解決策を考える力の素地）を養う。

7 創造的な資質・能力の素地を育成するための指導の手だて

（1）個別最適な学びと協働的な学び

めあての達成に向けて、個人で考える時間やグループで考える時間を取り、児童が自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。

（2）ICT等の活用

ICTを活用して、野菜の成長の過程を写真で振り返らせることで、お世話したことを思い出して考えることができるようにする。

（3）振り返りの充実

児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のもち味に気付くことができるようにする。

8 指導計画

時	小单元名	○主な学習活動 ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて	◆評価規準 【観点】(方法)
1	そだてる やさいを きめよう	○これまでの栽培の経験や育てたい植物について話し合い、自分が育てたい野菜を決める。	【知】①②(発言・行動観察) 【思】①(発言・記述) 【主】①(発言・行動観察)
2 ～ 3	なえを うえよう	○土を入れて、野菜の苗を植木鉢に植え替える。 ○野菜に名前をつけて、ネームプレートを書く。 ★ICT等の活用【指導の手だて(2)】 ICTを活用して、野菜の成長の過程を写真で振り返らせることで、お世話したことを思い出して考えることができるようにする。	
4 ～ 5	お世話を しよう	○自分が決めた方法で世話をし、観察したことをカードに記録する。 ○苗の成長に合わせて、自分で考えて支柱を立てる。 ★個別最適な学びと協働的な学び【指導の手だて(1)】 めあての達成に向けて、個人で考える時間やグループで考える時間を取り、児童が自分のモチベーションを生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。 ★振り返りの充実【指導の手だて(3)】 児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のモチベーションに気付くことができるようにする。	
6 ～ 7	お世話を つづけよう	○成長の変化を観察カードに記録し、全体で共有する。 ○わき芽や肥料について、本やタブレットで調べる。 ○それぞれの野菜の成長や育て方で違うところや同じところを考える。 ★個別最適な学びと協働的な学び【指導の手だて(1)】 ★振り返りの充実【指導の手だて(3)】	
8 ～ 9	みのった やさいを しゅうかく しよう	○どのくらいの大きさに収穫してよいかを、本やタブレットで調べる。 ○収穫し、家でどのようにして食べたかを発表する。 ★ICT等の活用【指導の手だて(2)】	
10. (本時) ～ 13.	わたしの やさいを しょうかい しよう	○これまでの栽培の様子を振り返り、1年生にどのように紹介するか、紹介したい内容を考える。 ★個別最適な学びと協働的な学び【指導の手だて(1)】 ★ICT等の活用【指導の手だて(2)】 ★振り返りの充実【指導の手だて(3)】	【知】①②(発言・行動観察) 【思】①(発言・記述) 【主】①(発言・行動観察)

9 本時の指導（全 13 時間中の第 10 時）

（1）目標

育ててきた野菜のことや心を寄せて世話をしてきたことなどを振り返り、野菜について 1 年生に紹介したい内容を考え、表現することができる。

【思考力・判断力・表現力等】

（2）展開

	○主な学習活動 ・予想される児童の反応	◆評価規準【観点】（方法） ★創造的な資質・能力の素地を育成するための手だて ※指導上の留意点
導入	○育ててきた野菜の実物や写真を見て、今までの学習や野菜の成長を振り返る。 ○本時のめあてを知る。 そだててきたことを生かして、気づいたことや分かったことを書き出そう。	※野菜の植木鉢をいくつか教室に置き、いつでも見られるようにする。 ※本時は、来年の野菜づくりのために、1 年生に紹介することを全体で再度確認する。
展開	○育ててきた野菜について、どんなことを 1 年生に紹介できるかを全体で話し合う。 ・おせわのしかた ・やさいのせいちょう ・そだてて分かったこと ・そだててたいへんだったこと ・くふうしたこと など ○熊手チャートに記入する。 1 人で考える。 ↓ 同じ野菜のグループで意見を交流する。 ↓ 違う野菜のグループで意見を交流する。 （例） 気づいたこと や分かった こと ○黄色い花がさくよ。 ○トマトの実は、みどり→黄色→赤にかわるよ。 ○風がつよくて、くきがおれたけど、土にさしたらまた元気になるよ。 ○わきめが出てくるよ。 ○熊手チャートに書いた考えで「いいな」と思った考えを発表する。	※記録した観察カードを並べたり、撮りためた写真をタブレットで見たりすることで、育ててきた野菜の成長の様子を思い出させ、紹介したいことを考えやすくさせる。 ※野菜を育てる過程で、児童が発言した気持ちを野菜ごとに目に見える形で掲示し、振り返らせることで、紹介したい内容を考えやすくさせる。 ★めあての達成に向けて、個人で考える時間やグループで考える時間を取り、児童が自分のもち味を生かして挑戦し、主体的に取り組もうとする態度を身に付けることができるようにする。【指導の手だて（1）】 ★ICTを活用して、野菜の成長の過程を写真で振り返らせることで、お世話したことを思い出して考えることができるようにする。【指導の手だて（2）】 ★児童のよい考えや行動を教員が価値付けることを通して、児童が自分のもち味に気付くことができるようにする。【指導の手だて（3）】 ※友達の考えは、自分の考えと分けて友熊手に記入するように伝える。 ◆育ててきた野菜のことを振り返り、紹介したい内容を考え、表現している。 【思・判・表】（発言・記述）
振り返り	○本時のめあての振り返りを、オクリンクプラスに入力する。 ○学級全体で、今日の学習を振り返る。 ○次時の学習の確認をする。	※各自で入力した後は、友達の意見も他者参照し、学びを深める。 ※数人の児童の振り返りを紹介する。 ※次時は、野菜の紹介をどうやって行うか、方法について考えることを伝える。